



岡田 舞子

1993年岩手生まれ、半年間で少し大人に成長してきましたと考えております。

撮影テーマ

撮影地は自然に関する聖地です。岡田は大自然の中で生まれ変わってきます。

最近のエントリー

- ▶ 岩手さ帰る。(2013.09.25)
- ▶ フリカエリ。(2013.09.12)
- ▶ ロスタイム。(2013.09.06)

アーカイブ

- ▶ 2013年10月
- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年06月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリー一覧

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校 NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



HOME / 海外フォトフィールドワークWeBlog / 単純に。 / 2013年09月 アーカイブ

## 海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

単純に。

### 岩手さ帰る。

[Tweet](#)

[Check](#)

おぼんです。

岡田です。

9月16日に無事に帰国しました。

日本に着いたときはなんか違和感がありました。

街で人にぶつくとソーリーといっせいで済んだり、トイレを探すのに苦労しないのはなんか寂しな一と。

ただ寂しさとは反対に2日くらいで日本になれた。

東京につき用事をすませたら、私は実家の岩手にかえりました。

一関駅東口



久しぶりの岡田家。



実家のご飯が1番なのさ





北京のお土産を愛犬ひなに



クローズアップ



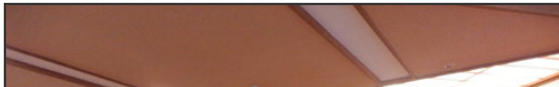
秋鮭とひな 昔河原を歩いていたらおばさんに犬？って質問されたこともありました。



帰ったら一段と貴様が増していた。



滝沢のおばあちゃんと温泉さ。





アイスクリームを食べに小岩井農場さ。後ろに見えるのは岩手山



インド再来



暇だから敷美溪さいく



お彼岸だから墓参り





金魚さえさっこをやる叔母



一聞さ帰るとここさきたくなる



帰国して1週間がたちもーゆっくりしたのでそろそろ東京さ帰ります。

日本に帰ってからみんなお帰り！無事に帰ってきたね！と言われますが  
半年間こんな私が無事に帰国する事ができたのは、引率をしてくださった富田さん、山田さん、局長をはじめとする教務課のみなさん、スクーリングに来てくださった鈴木先生、飯塚先生、長坂先生、日本写真芸術専門学校に携わっている皆さんのおかげだと感じています。

そして半年間サポートして頂いた企業の皆様に改めて御礼申し上げます。

カテゴリ：

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.09.25 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

## フリカエリ。

[Tweet](#)

[Check](#)

岡田です。

最後の都市上海に入りました。

三年前岩手から上京し東京で一人暮らしをし写真の勉強始めました。

アジアにでる前の二年はこの半年間のために生きてきたものです。  
使う機材や旅の費用を稼ぐために必死でバイトしました。

今ではあのと時の大変さはいいものだったと感じます。

半年間で様々な物を見てきました。日本ではしない経験もたくさんしました。

こんな経験ができるのも学費を払ってくださっている両親のおかげだと思います。

昔私は辛い事や嫌な事があつたらどこか遠くへいけば楽になるんだと思っていました。  
でも日本にいても海外にでても問題から逃げていたら楽になる事はないんだと思うようになりました。

長年話していない人と帰ったらなにか話してみよう。

そんな事を振り返りながら考えています。

FW 8 期生は個性が強いです。私を含め多くの人に迷惑をかけました。まともありません。でも個人行動でしばらく一人でいるとみんなと会う指定泊の引率部屋が楽しみでもありました。

スクーリングでも 2 週間 1 0 人で共同生活は部活を思い出すくらいしんどかったけど、1 0 人そろそろ楽しいときもたくさんありました。

みんなバラバラな性格の持ち主だからリーダーの武刃は大変だったと思います。半年間お疲れさま。

富田さんにもたくさん迷惑をかけました、でも富田サンが引率で良かったと思います。だいぶいじられました。

女子三人も個性が強いです。おもしろいメンバーでした。三人とも寝言ははっきり言うのが半年間たびたびきて気がついた。ミミは中国語でみずきは英語と日本語で、私は変な言葉で。施設の女子部屋はとても刺激的です。

男性陣も変わった人の集まりだから面白かった。

あと 7 7 時間後には日本にいます。

半年間様々な経験、出会いに感謝して船での 2 日間を過ごしたいと思います。

自分だけではここまですることはできなかったから 1 0 人には本当に本当にありがとう。

んだばね。

カテゴリ :  
post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.09.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## 📷 ロスタイム。

[Tweet](#)

[Check](#)

おぼんです。岡田です。

フリー期間も着々と時を刻んでいきます。

タイで出会った日本人が必ず半年も海外にいれば考え方や物の見方は変わるといっていました。

自分は変わったのかな。何となくしか考えてこなかったな。写真に関するめんでの変化は気がついたけど、人間としてはどうなのかな。

日本に帰ったらわかるのかな。

なんとなくそんな事をバスでよく考えます。

実家にいるころ季節の野菜は必ずたべていたな。とか帰ったらカブの時期になるから漬け物が食べたいなとかみずって山菜だったな。醤油とシヨウガであえて味の素で味付けすると最高だなとか。くだらない事から重要なことまで。

半年間すごく移動してきた方です。

ハプニングもあったけど移動の時間はそんな事を考えるのが楽しいからすきです。

飛行機以外は。

出発する前は半年って短いのか長いのかどっちなのだろうと思っていた。半年がたとうとしている今、結論は短かった。

そりゃ入院している時とか一人で 2 週間安宿にいる時は長いな一つて感じたけどその他の時間はあつという間に過ぎ去っていった。

時間という物がここまで大切に感じるのは初めてかな。

残りもあとわずか。今までの気持ちを整理しつつ思うのはただ一つひっちゃんのロールキャベツとお母さんの鍋焼きうどんがたべたい。くだらないけど 1 番アジアにでて実感したのは日本食最高！納豆！卵かけごはん！みそ汁！これがあれば私は生きていきます。

さてさて今は中国の青海省という場所にきています。青海湖という場所が撮影地なのですが、大変な場所でした。





さすが中国これはもはや湖ではなく海です。  
でかすぎ！



朝の撮影は移動手段がないため4時にて1時間ほど1本道を歩く  
と草原と青海湖の見晴らしのいい場所につきます。朝とい  
っても暗いです。車も通らない。人もいない。  
遠くから聞こえてくるチベット犬の遠吠え。草むらに寝ているチベット犬。  
近づいてくるチベット犬の鳴き声。暗闇からあらわれるヤク。  
チヨー怖かった。

でもとりあえず今はひたすら撮れ！です。

残りの撮影地は内モンゴル、量は質を伴うけど、今は量ではなく質へ。

ガンバローゼFW 8期生！

カテゴリ：

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.09.06 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

▲ Pagetop